# 國會準備の實手段

國會開設の準備は方今朝野一般の大問題にして其議論少なからず本社も旧て聊か見る所のものあれば爲めに一篇を草し深く理論に入らずして實際に行はる可き路に就き以て我國會をして常に圓滑あらしむる手段を示し**國會準備の實手段**と題して本月末より數日間の紙既に掲載せんとす由て豫め茲に廣告して大方の高評を給はらんことを乞ふ

四月　　時事新報社

## 時事新報

外國政府は思ふて他日の計に至らざるか憂霧山を遶て看れども見えず今日や晴れん明日や見えんとて全國の人心は唯何となく希望の中に惱殺せられ敢て未だ容易に動搖せざるものは條約改正の談判にして當局者の政略は何れの邊まで運びたるや或は日あらずして雙方の和熟を見るまでならんかなれども月を移し年を經て猶ほも依然として有無蹴蹴の間に彷徨ひ容易に實効を見ざるに至りて推察すれば或は條約國中不理屈を唱ふるものありて求む可らざるとを求め、許すべきを許さゞるが爲めあらんか、我輩は日本國民なるが故に枉げて日本の爲めに言を飾るに非されども我國にて改正を要求するの點は頗る穩當のものにして尋常普通に獨立國の保有すべき所までを限り決して分外不法あらざるは内外具眼者の飽くまでも知る所なるに尚ほ其談判の結局に至らずとは扨も〳〵堪へ難き次第にみろわれ諸外國の政府は畜條約のまゝにても苦しからずとの算なるならんかれば云はゞ無責任の姿なれども苟も内外地を易へて外國人が日本人の身と爲りて考へたらば吾々人民の不平當局者の苦心を推量するに足る可し然りと雖も痴言は徒に人の笑を取るに過ぎざれば今日と爲りては我輩も敢て愚痴を陳べずして別に大に覺悟する所のものあるを得ず仄に聞く我當局者は改正の談判に就き各國同一樣の同意を求めずして此方の要求に應ずるものを招き片端より箇々別々に着手するやとあらんと言ふ此言にして事實ならば今後談判の調ふたる國は我要求に應じたるものとして其調はざる國は我要求を拒みたるものなり即ち調と不調と判然相分るゝことあれば吾々日本國民が諸外國人に對する覺悟も是に於てか始めて判然して恰も厚薄の標準を得たるものゝ如し左れば談判の調不調は各國政府の意に一任して我輩の顧着する所に非ずと雖も其不調國の爲めに誤りて利か不利か鄙見を以てすれば聊か氣の毒なる次第もあれば心得の爲め試に之を一言せん始め日本人て外國交際を開くに當りては諸外國にても能く我國情を知らず日本とは如何なる國柄にして政府ありや將た王ありや德川大君と申すは當長なるや顧問なるや人物も衣服も家屋も道路も怪しきもの〳〵みな其國土の位地氣候の工合によりて宜すれば何か多少の物産はあるべし好し製造品はおきにもせよ粗生品は一歳の荷物あらん碩子織工と交換するも損失はなかる可しとて唯貿易利の一點にのみ着目して論事は都て野蠻と見下したる又一方の日本にては外國とは何れの邊にありて人種人の生活は如何なるや蒸氣の草創を見れば人類相喰ふものには非ざるか、電信機とは何ぞ雲霧あるものか隣邦なり敵國なりとして電線の柱は驚くべきものなれども心胸に之と齒ひするを恥ぢたりしと雙方知らざりしみる赤面の至りなれ歳月を經るに從ひ互に事情を探りて見れば日本の進歩も素外にして文物制度の秩然たるは正に是れ東海唯一の君子國なり又西洋とても夷狄ならず有形無形の文明は既に非常の進歩を成して學問あり技藝あり就て學ぶべき所も少なからざりしかば我國人は早くも昨夢を忘れて爾後汲々として之を輸入するを勉め、由りて以て長足偉大の進歩を致し法律の改良、文明の教育、商賈工業航海の事より海陸軍の制に至るまでも先づ以て獨立國の體面に愧るみとおくして文明世界の交際を維持するに足るの今日に至りしみとあり然らば則ち今日の日本は單に是れ貿易商賈のみの野蠻國に非ずして文明交際の一帝國なり西洋諸國の政府は之を視て如何の觀を爲すや果して交際國と認るあらば宜しく對等の交際を開く可し我れ亦之に應ずるの覺悟ある可し、或は強大國の故を以て唯一概に自國の我意を張り飽く迄も昔時の日本國なりと蔑如し去りて毒常普通の條約を拒み我國人をして鬱屈の中に死生せしめんと欲するか、子孫萬世徹骨の恨は遂に忘る可らずして之に報ひんと欲する覺悟も亦人情の常なれば日本人民が其強國人に對して商賈上に又私交上に愉快あらずして自然に反目して雙方の不利たる可きは勿論、或は事の大なるものに至り例へば世局漸く變遷して他年一日彼の強大國の間に東洋問題の起るみともあらば之を如何せん強大國の眼中日本を見る勿らんと欲するも得べからざる可し如何とあれば日本は單に外人貿易の野蠻國に非ずして實力に乏しからざる交際國なれば日本國人の向背は以て強大國の勢力平均を左右するに足るべきを以て自から他年の不利を招くの拙を行ふや我輩は假に傍觀者の地位に居て其理由の解釋に苦しむ者あり德を知り又怨を知るは世界の人情にして日本人も亦その例に漏れざる可し故に我輩は今日條約改正の事に就ては飽くまでも我讀敏なる當局者を信ぜて之に依賴しながら又翻に人民自家の覺悟を定めて靜に事の成行を疑ひ以て自家の向背を決せんと欲するのみ

## 官報

○惡性病患者解剖　と題して去る十三日の本欄に掲げたる記事の末項「尤も專ら實地執刀及説明を遂行せしたる記事、戸塚、鈴木等の各海軍醫官よりして其筆記は該院在勤軍醫候補生之を寫る」の數字を脱し又同記事中「血液」の一項は衍、以上執れも報告誤と昨日の官報に是正したり

○辭令

## 雜報

○大坂府下市町村制實施の順序　嫌て本紙に掲載せる如く大坂府に於ては市町村制の實施を取急ぎ已に各郡の町村は去る七日までに撰擧人名簿を縱覽せしめ同十七日までに名簿を確定し法律第七號發布の爲めに少しく模樣替を要する大坂市も撰擧人名簿の縱覽を五月廿日より廿六日迄として六月五日迄に名簿を確定する都合なり尚は聞く處に據れば撰擧會を開くべき旨を公告する事は各町村及び堺市は四月廿一日、大坂市は六月九日、撰擧會は各町村及び堺市は四月廿八日より廿九日までで、大坂市は六月十六日より十九日までにして各町村は五月十日より十二日までに町村會を開設し有給町村長給料に關する條例を設け府知事を經て内務省に稟議し六月二日より十一日までに再び町村會を開きて町村長助役を撰擧し同月十五日までに町村收入役及び附屬員を撰擧し堺市は五月十一日より十四日までに市會を開設し市長の候補者を推薦して其給料を定め六月十一日より同十七日までに市長助役及び名譽職參事會員の撰擧を行ひ助役の給料を定め六月二十二日より市參事會を開設し六月廿四日までに收入役并に附屬員を撰擧する等已に豫定せるよしあるが大坂市の分は尚ほ未定なりと云ふ

○佐賀縣の政況　此程佐賀發の報に云く季節柄とて當佐賀縣下も漸く賑しく相成べき傾向の見え候へば執筆の序に概略を報道せんそも當縣下にて政事上の事を談すべき有志者は鄉黨、同成の二派に分れ諸事競爭軋轢の風ありて地方に於ては鄉黨會を指して大隈派と謂ひ同成會を目して大同團結派と謂ふ者さへあれば多少其色合の見ゆる所之なきにあらず非ざるも同成會自らは大同論者にあらざる旨を主張し居れり而して兩派とも各郡代議士を有し縣下八郡一として全く一黨派に偏したる地方なく互に勢力は恰も二分するに由なきを云へど其中に於て大隈派は時々大會を開き時々大會を開くの